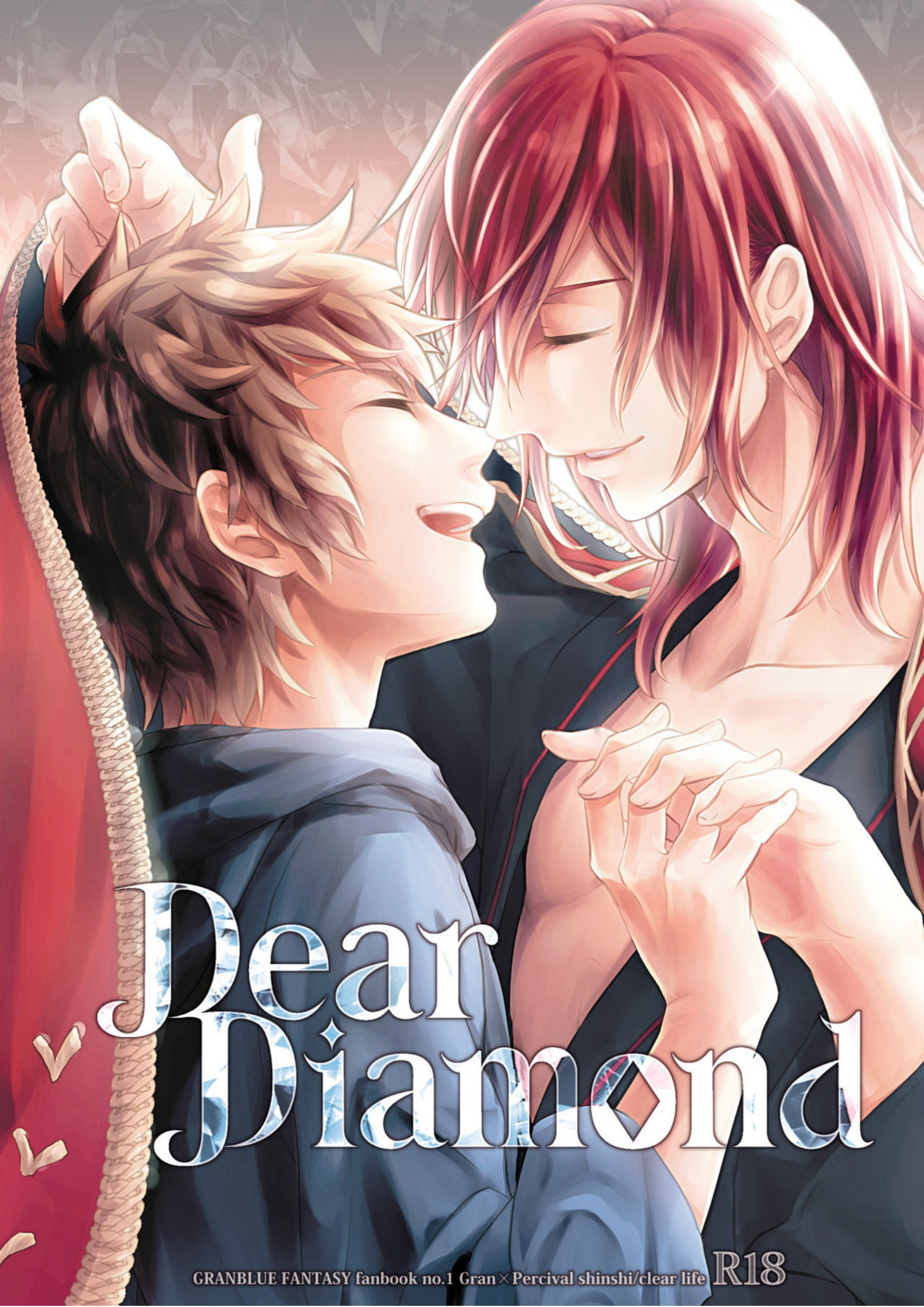




Dear Diamond

.:Dear Diamond.:

!ATTENTION!

- ・18歳未満閲覧禁止
- ・氷炎後の話ですが兄上が分かれば大体平気
- ・氷炎後～ウェールズに短期滞在中という設定
- ・ウェールズ兄弟の捏造が少々あり



東の森の魔物討伐
ご苦労だったな…

いや、
パーシヴァルの
故郷だし

お前の騎空団は我が
国とは関係無いのに
何度も駆りだして
すまないな

困ってる
人を放っておけない
から気にしないで
いい…ください



ということとは
奴も戦ったのか

…？
地理に明るい者が
先導するのは
当然だーって言って
先陣切ってくれました

ふ…
ははは！
そうかそうか…

はっ

はっ

はっ

？



ふ、
使い慣れぬなら
無理に敬語を
使わんでも良い

…ところで
パーシヴァルは
どうした？



あ、パーシヴァルは
結構汚れちゃった
から今風呂に…

ほう？

こんは…
兄上の前には
おろかな



魔術は主に
ラモラックが
教えていたのだが

奴は風の力を
使うからな



いや

昔奴は
森を焦がした
ことがあつてな

こんな風に
笑うんだ…

焦が…



それ以来森での
修行には我も
同行したものだ

…懐かしい
ものだな

そんなことが
あったんだ…



バーシヴァルの
火を消そうと
風を起こして被害を
拡大させてな

わあ…



そういえば
僕と初めて会った
時も関所を消し炭に
してたっけ…

ははは！
そうかそうか…
まだ感情に
振り回されるか





な、何を
吹き込んだの
ですか！

人間きの悪い
ことを言うな

我はただ
昔話をしただけ
であろう

——ああそうだ
パージヴァル

今夜
空いていたな？

は……？
はい……

ならば今宵は
我の部屋に
来い
酒に付き合え

は……
酒、ですか

お前と二人で
酒を酌み交わした
ことはないであろう

父上の葬儀の時
お前は成人して
いなかったしな

それは……
そうですが……

それに
このところ
我もお前も忙しく
していたであろう



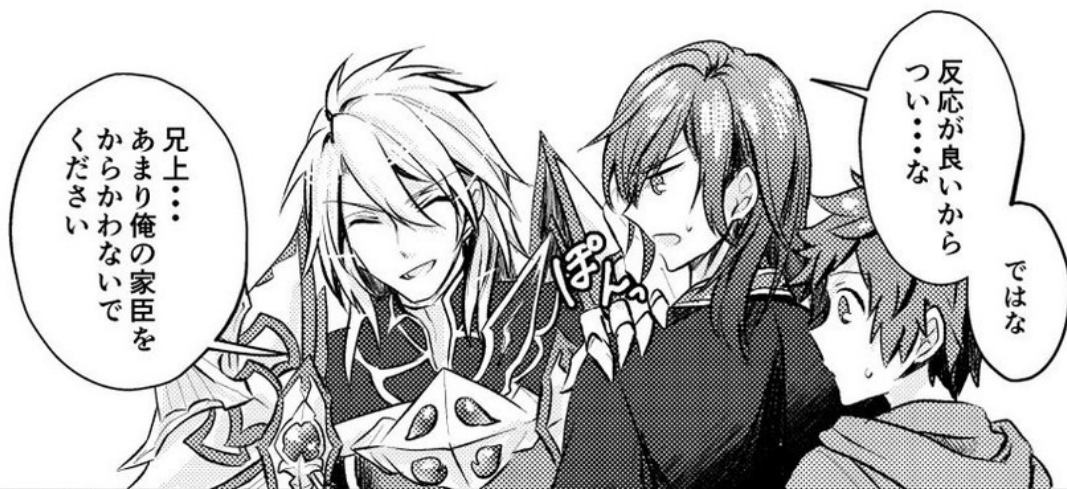
……お前と
落ち着いて
話もできていない

……
よろしいの
ですか？
明日も公務が——

我が酒に
呑まれるとでも？

いえ、
そのような
ことは……

では
決まりだな





かっこいい
ところも



意外と
かわいいところも

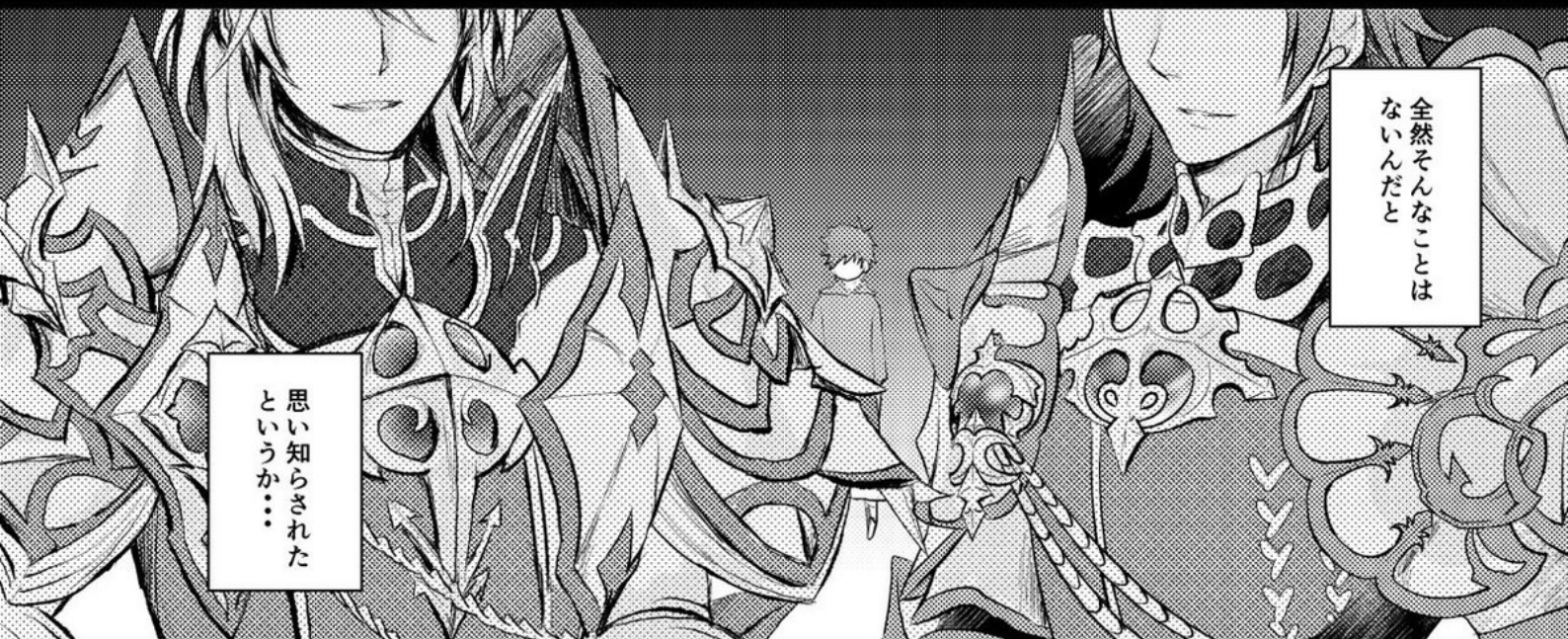


すごく
優しく笑うところも



だひど





全然そんなことは
ないんだと

思い知らされた
というか……



でも僕は
パーシヴァルの
ことを知りたい



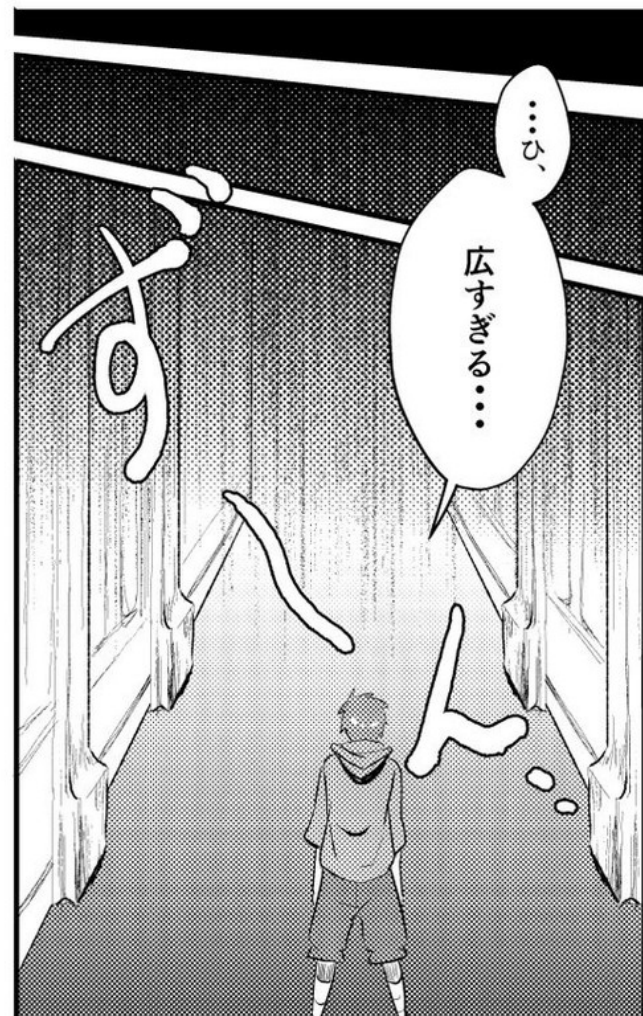
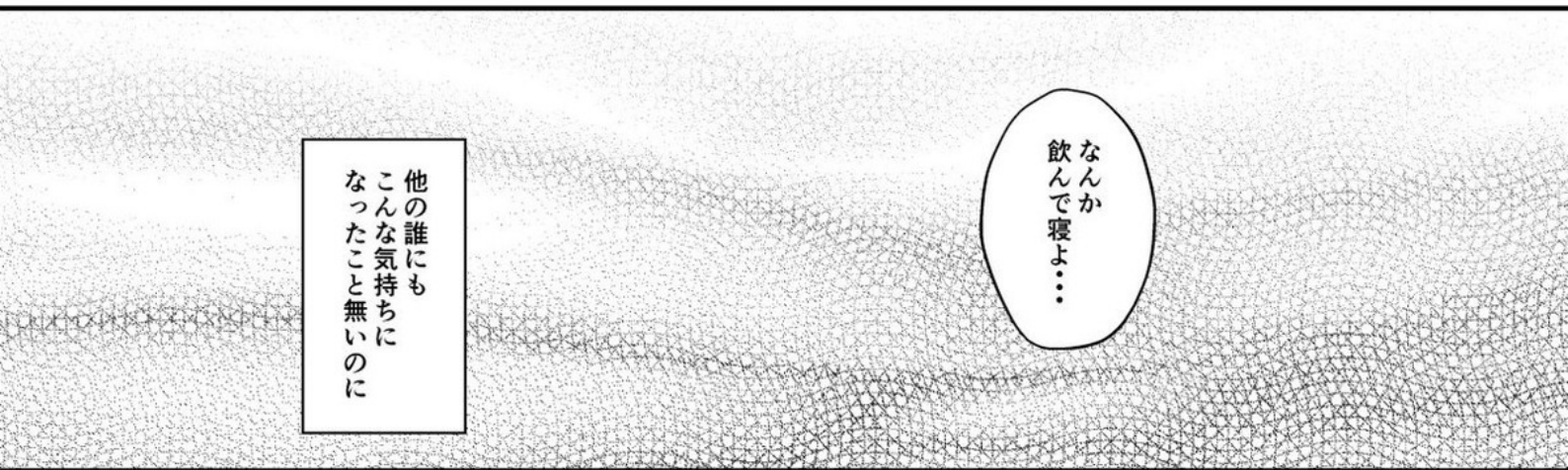
そりゃその時を
一緒に過ごした人
以上に深く知ること
なんてできないんだし

それに黒竜騎士団に
いた頃のことだって
ジークフリートや
ランスロットの方が
知ってるんだし



なんで
こんな気持ちに
なるんだろ……

パーシヴァルの
すごいところも
可愛いところも
かっこいいところも
全部知りたい



お兄さんとお酒飲むんじゃないのか？

もう飲んできた…俺は今から部屋に戻る

それよりお前はこんなところで何をしている？

お前の部屋はこちら側ではないだろう

僕は喉渴いたからちよつと水もらってきたとこだけど…早かったんだな

ちよつと顔赤い？
ような…？

そうか？
まあ俺も兄上も嗜む程度だからな…

…まあ騎空団の酒飲みたちと比べたら早いだろうな

…ああ
そうだグラン

今から少し話したいことがある…いいか？

今？
いいけど…

よし

では俺の部屋に
来い

迷子にならんよう
くれぐれも
はぐれるなよ

まっ…!!
迷子になんて
ならないよ!!!





うわとは何だ
失礼な奴め



もん
ランスロット
達とも飲んで
みたいだし...

もん
パーシヴァル
子供の前では
飲まないからな

もん
いや僕は
そんなに子供
でもないけど!

ぐらん



いやだから
何でも

...へ?
お兄さん...
なんで?

...
違うのか

...
違うよ



何を考えて
いた?

ズン
イケメンすぎて
心臓に悪い!!

はっ
いやその
べ、別に
なんでも...

...兄上の
ことを考えて
いたのか?



...
ズン

お前は...
兄上をどう
思っている?

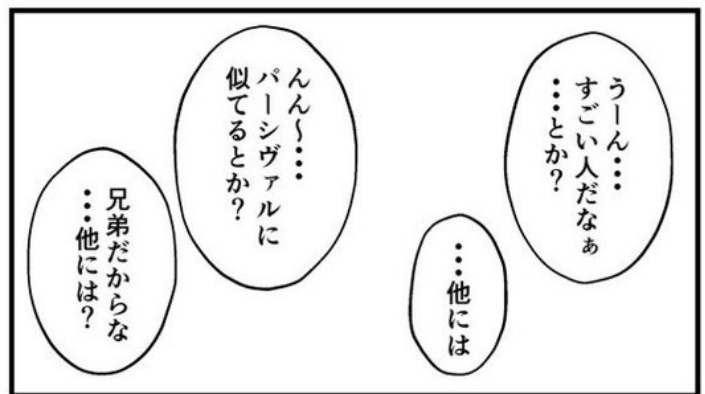
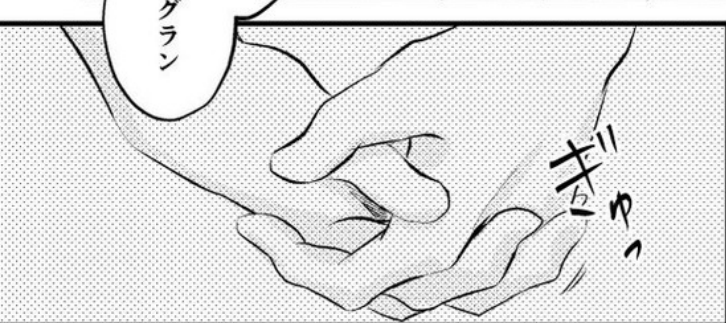
へ?



もしかし
てさっきお兄さんと
何かあったのか?

いや...
別にそういう
わけではない

?じゃあ
なんで...?







……だが兄上も
お前の特別なものに
気付かれた



……っていうか
それ冗談だろ？

あの人結構真顔の
まま冗談言うよな

ああ……
兄上も本気で
家臣に迎えようとは思
われていないだろう

所詮は酒の席での
お戯れ……
分かっている

じゃあ
何で……



なんだよ
それ……僕は
別に——

言葉通りだ

お前は他の者に
無い特別なものを
持っている

特別な……
って



え？

お前の輝きは
誰をも惹きつける

……そのことを
改めて突き付け
られた気がしてな

輝き
……って



俺が一番
分かっていると……
俺がお前のことを
誰より知っていたいと思
った

はいはい
分かった分かった
からも……いいだろ
この話！

お前の
特別なところは

あ、あー分かった!!
パーシヴァル
今すぐこい
酔ってるんだろ！

素面の時にも
同じようなこと
言われた気がする
けど！



パーシヴァルのこと
全部知りたいって
思った



…嘘

お前は誰の
目にも眩い…
不思議な男だ

それ故
誰もが前に
惹かれてしまう

俺はそれが
誇らしくもあり
—しかし…

待って



パーシヴァルも
僕のことを
知りたいって

僕とおんなじこと
考えてて

それがすごく
嬉しくて…
ときどきするのは

——っ



パーシヴァルの
すごいところも
かっこいいところも
全部…

パーシヴァルの
こと全部知りたい
…僕だけが



言っているのかな
困らせるよな

パーシヴァル

ぼくも…

グラン?



でも
伝えたい

僕だって
パーシヴァルの
こと一番知って
いたって
思ってる…



グラン——

好き

グラン

っおい...

好きだ

パシヴァルの
ことが好き

好き…
大好き

パシヴァルが
好きだ…!!

…気の迷いや
勘違いでは
ないか?

違う

主に対する
敬愛や団員への
情を取り違えて

違う!
だって…

だって僕…
今…

パシヴァルに、
もっかいキ…ス
したいし、もっと
触りたい…

たくさん…
パシヴァルに
いっぱい…色々、
したい…って…

—!!

…そうか

なら好きにしろ

!?

ぱ、パシヴァル?!
僕の言ってる意味
分かって言ってる?!

?
性的な意味で俺を
好いていてキスや
それ以上のことも
したいんだろう

せつ…
そつ…う、
だけど…!!

でもだって
そんな—

グラン





全て…
教えてやる



ふっ…
ぐらん…っ

つく、ア

パシヴァル
…大丈夫？

苦しくない？
痛くない？

大丈夫だと…っ
何度も言わせるな…

大丈夫…っ
言われても…

さつきから
ずっと辛そうだし

やっと指2本
入るようにはなった
けどめちやくちや
きついし…



その…
本当にこんなところ
入るの…かな

っ…やはり
入れたくない、
か…?

いやめっちゃ
入りたいけど

いや
そーじゃなくて!!



…
というか

僕がもう
限界近いかも…

さっき出した
ばっかなのに…

…なあ
パーシヴァル



だってまだ
こんな狭いし

っあ
べっ



色んなパーシヴァルを
知りたいけど
苦しい顔は嫌だ



僕のために
無理してくれてる
ならこんな…

それなら



男同士での
セックスの仕方自体
教えなければ済んだ
話だろう

…あ



—…グラン



…ん?
あれ…
じゃあ…



…俺が早く
お前と繋がりたいんだ

!!!

…ん?

ぽっ



随分と
苦しそうだな?

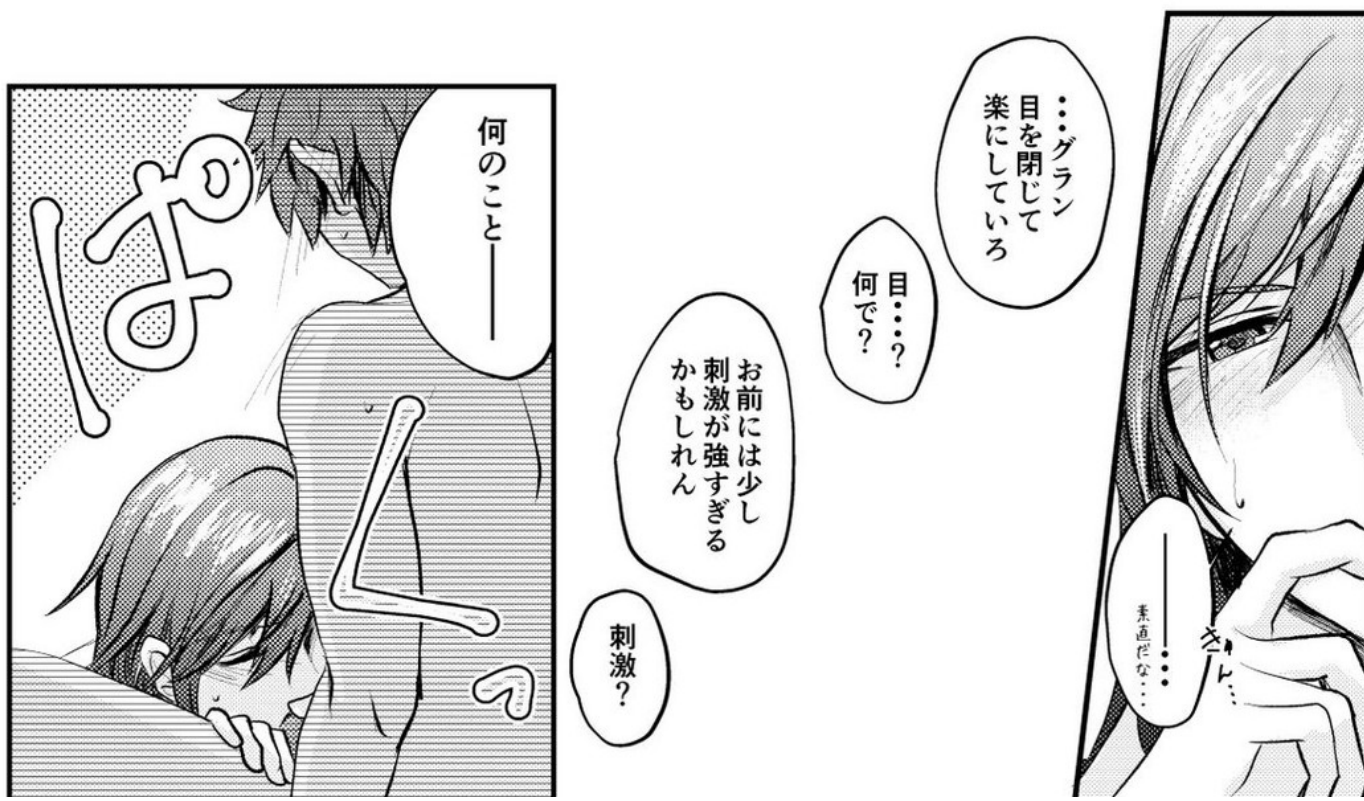
うう

ううう…
ごごめん…

謝らなくて
いい

まだ入ら
んだろうしな…
抜いてやる

お願い
します…



…グラン
目を閉じて
楽にしている

目…?
何で?

お前には少し
刺激が強すぎる
かもしれん

刺激?

何のこと——

素直だ…





…まったく

出すなら
先に言え…

まだカタいな

そっ…！
いやだって

パシヴァルが
自分でお尻
いじってるから…！！

しなっ
見…っ！！



仕方ないだろう
お前は加減
しすぎなんだ！



だっ…だっ
あんなトコ…
痛いだろうし…

…ああ

お前の心遣いは
分かっている

だがソレを
入れるには…な
若いも程が…

ハイ！
すみません！！
僕の愚息が！

むしろオートイグニッション



…あっ
そうだ！

？

僕ばかり
いっぱいして
もらってるから

今度は僕が
パシヴァルを
気持ちよくする
番な！



っでも
まだい

おそらくもう
入りはする

おそらく...
ってことよ

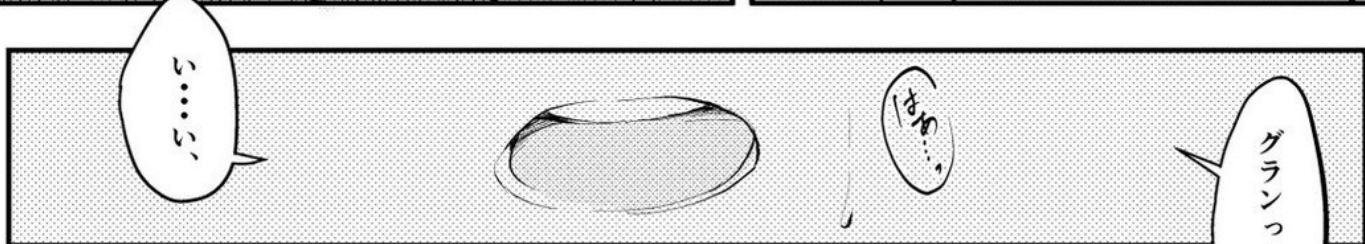
グラン

...頼む















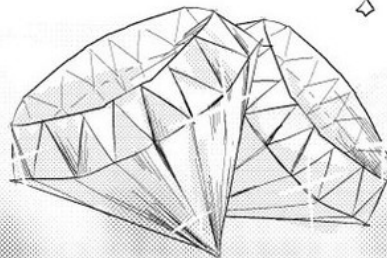
ずっと
パシヴァルの
ダイヤでいられる
ように、さ！

……！

……
今以上に、か？

もっちゃん！

パシヴァルを
一番輝かせるのは
僕だからな！





←
パーシヴァルさんの胸元を
凝視してるようにしか見えない格蘭くん

こんにちは初めまして紳士です！
以下読まなくていいあとがきです。

氷炎→最終解放の流れがアカンすぎてあっこれ描かないと…という経緯で
この本ができました。馴れ初め描くの好きなんですけどこんな分厚い本初めて！！
氷炎だけでもやばかったのに最終解放はほんとやばかったですね。
最終解放は金月15個ぶん投げてさっさと100にしたのですが金月投げてもおつりが
くるようなフェイトだった…

サマーパーの時点で「こいつら付き合ってたじゃん」って感じでしたが
氷炎と最終解放で「これ付き合ってたんならなんなの??」と思い
もしもこの時点でお付き合いしてなかったら…という妄想からこの話ことができました。
告白即ベッドインって…ちゃんと手順踏めよ！！って思う派だったのですが
フォローさんたちが軒並み
「グラパシもうセックスしかすることない…」
と仰っていてほんとだよ…と思ったのでベッドインしました。
いやほんとキスとおせっせせ以外の全てを公式でしてる…心で結ばれてる…

とはいえパーシヴァルさんがとんでもなくがつついてる感がありますが大体お酒の力
だと思います。酒入ってなければ多分キス止まりだったかなあと。
素面だと初夜にいきなりフェラしたりはしないんじゃないかなあと。
舐めたいからというよりは舐めたら格蘭くんが興奮するだろうなという感じで
フェラしたがりなパーシヴァルさんはあると思います！
四騎士ボーナストラック的にパーシヴァルさん酒弱くはなさそうというか寧ろ飲める方
かなって感じなので兄上どんだけ強い酒飲ましたんだ…ありがとう…

それではお手に取ってくださりありがとうございました！



最初間違えてパーシヴァルさんを
鎧で描いてたのですがその時のラフは
既にお亡くなりになっていました。かなしいなあ。

∴Dear Diamond∴

初版 2017.3.20
第二版 2017.6.18
clear life / shinshi
printed by BRO'S

shingentle27@gmail.com
twitter:@doMshinshi
pixiv:3048090

！禁止事項！

転載・転用、ネットオークションへの出品
18歳未満の方の所持・閲覧

不要になった際は一般の方・不特定多数の目に触れないよう処分
上記事項厳守

上記事項に違反している場合作者は一切の責任を負いません
転載・転用された場合こちらの定めた使用料をいただきます

Dear Diamond

GRANBLUE FANTASY fanbook no.1 Gran×Percival
shinshi/clear life R18

